

歯科医療者の将来像を見いだす

—「若い歯科医師のための Oral Physician 育成セミナー」開催される—

3月22日(日)、日吉歯科診療所(熊谷崇院長)にて、第9回となる「若い歯科医師のための Oral Physician 育成セミナー」が開催された。本セミナーは、歯学部学生、大学院生、開業前の勤務医および歯学部教員等を対象とし、歯科医療の本当の価値を伝え、人生の多くの部分をかける歯科医療という仕事に対して豊かな将来像を見出してもらうことを目的に行われている。

今回も全国各地から下は大学3年生、上は卒業5年目の勤務医までと幅広い層の若手歯科医療関

係者47名が参加した。セミナーの内容は、

- ① 日吉歯科診療所見学
- ② 熊谷崇「Oral Physician とは」
- ③ 加藤大明「Easy way to Oral physician」
- ④ 仲川隆之「若い歯科医師の開業への道のり」
- ⑤ 小口道夫「若い歯科医師の開業からの道のり」
- ⑥ 熊谷崇「歯科医療の本質」

である。多くの参加者が希望に満ちた眼差しで講義に臨み、熱い感想を残して酒田の地を後にした。

加藤大明(日吉歯科診療所勤務)

●セミナーに参加して～希望と不安の狭間で～

歯学部に入学してから4年が経ち、自分の理想とする歯科医師像をそろそろ思い描こうと考えつつも、なかなか具体的なイメージができずにいました。そのような折、本セミナーの存在を知り、参加させていただきました。

昨年の東北デンタルショーでも熊谷先生のお話を伺う機会がありましたが、実際に診療所を訪れ、自分の目で見学することで、熊谷先生が今までに築き上げてこられた診療哲学を直接肌で感じ取ることができました。そして、本セミナーで何よりも印象的だったことは、私のような歯科医師の卵に対しても、臨床家としてのあるべき姿を、夢と情熱をもって語りかけてくださったことでした。

私は、臨床実習もこれからという段階でしたので、本セミナーを受講するのはまだ早過ぎるのではないかといった迷いがありました。しかし、熊谷先生のお話を伺うことで、臨床実習に臨むにあたっての一つの道標ができ、この時期に参加できたことは本当に幸運だったと思います。

まずは、しっかりと将来を見据えて、本当に患者さんのためになる歯科医療とは何かということに常に自分に問いかけながら、今後の学生生活を過ごしていきたいと思います。

権田洋平(東北大学歯学部5年)

●予防の概念から歯科治療を見直す

熊谷先生に初めてお会いしたのは学生時代に受けた講義のときで、私は熊谷先生が大きなビジョ

ンをもって歯科医療に携わっていることに深い感銘を覚えました。

今回、本セミナーに参加して医院を実際に訪れてみると、講義のときに受けた印象をはるかに越えており、そのスケールの大きさに圧倒されました。

歯科医師になってから2年が経ち、自身の診療を振りかえてみると、今までは目の前にある疾患をどう対処するかに追われてきたように思います。つまり、齲窩に対しては齲蝕を除去し、充填を行うことに着目していました。しかしながら、本セミナーでは、いかにきれいに形成あるいは充填を行うかに発想がとどまってはならないこと、リスクを見極め、予防や初期段階でのコントロールを行い、疾患を発生させないことこそがカリオロジーの基本であるということを改めて感じさせられました。

新たに歯科医師になった自分が本セミナーに参加したことで、視野が広がり、新たな目標がみえてきたように思います。患者さんが予防を通じて健全な歯を維持できる医療の実践こそ、本来の歯科医師の使命であると強く感じました。

田久保周子(日本大学歯学部附属歯科病院)

●Oral Physician for DDS

今回のセミナーでは、日吉歯科診療所での30年にも及ぶ長期の臨床データに基づいた貴重なお話を拝聴することができました。

私が学んだ大学では、歯科界を悲観的に捉えた

講義が多数あり、なかにはグラフなどを用いて論理的・客観的にわれわれの将来が暗いとする講義までありました。

われわれ、歯科を志す者が欲しいのは、事実を悲観的に捉えることではありません。事実が厳しいものであるならば、それをどのように打開していくのかということを考えることだと思います。そして、なによりも歯科医師として歯科医療に対して中心的に関われることのすばらしさを自覚する必要があります。

本セミナーでは、これからの歯科医師に必要なこととは何なのかを非常に高いレベルで、具体的に示していただき、私はとても大きな感銘を受けました。

Oral Physician と DDS とは車の両輪のようなものだと思います。今回のセミナーの内容を十分に生かしながら、DDS としての力も向上させ、患者さんを包括的に診療し、長期のメンテナンス管理ができるように日々努力していきたいと考えております。そのためには高い知識・技術・経験が求められますが、本セミナーからはそれらを身につけようという高いモチベーションをいただきました。

仲村倫希（さかきばら歯科）

●発見！真の歯科医師像

私には歯科医師 2 年目の姉がいます。姉は学生時代に本セミナーに参加してから、熊谷先生に魅せられ、予防の素晴らしさに惹かれていったのを覚えています。私は、姉をこれほどまでに魅了す

る熊谷先生とはどのような方なのかとても興味があり、本セミナーに参加させていただきました。

セミナーでは、今まで私の考えていた「腕の良い歯科医師像」が根底から覆されました。私は今まで「腕の良い歯科医師」とは、審美的で機能的な修復ができ、良く噛める義歯などを作製できる歯科医師だと思っていました。しかし、今回のセミナーに参加し、「腕の良い歯科医師」とは、患者さんに生涯にわたって自分の歯で食べられる喜びを伝え、そのためには何をしたら良いのかを理解してもらい、そして、それを実現できる予防の技術やノウハウをもった歯科医師だ思うようになりました。

もちろん良く噛める義歯を作製できることはとても大切なことだと思いますが、それは歯の喪失があって初めて必要になるもので、また作製できたとしても自分の歯で噛むことには当然のことながら及ばないと思います。でしたら、予防をしっかり行い、歯を喪失させないことのほうが患者さんにとって真の利益になるのではないのかと思うように変化しました。

「私もこんな歯科医師になりたい！」これがセミナー直後の率直な感想です。実際にこのようなビジョンで行うには、多くの困難が待ち受けていると思いますが、同時に、そこには歯科医師としてのやりがい、充実感、また多くの患者さんの笑顔があると思います。私はそれを信じて熊谷先生のような強い信念をもった歯科医師になるべく、日々邁進していきたいと考えています。

押村憲昭（愛知学院大学歯学部 6 年）



今後の「若い歯科医師のための Oral Physician 育成セミナー」開催予定

日 時：2009 年 11 月 15 日（日）、
2010 年 3 月 14 日（日）

場 所：山形県酒田市 日吉歯科診療所

受講費：無料

申込先：日吉歯科診療所

下記の HP よりお申し込みください

<http://www.hiyoshi-dental-office.org/>